

名<sup>な</sup>は体<sup>たい</sup>を表<sup>あらわ</sup>す

仏ほとけの顔かおも三さん度ど

ことば

仏・顔・三度

目<sup>め</sup>から

うろこ<sup>こ</sup>が落<sup>お</sup>ちる

目・うろこ・落ちる

壁<sup>かべ</sup>に耳<sup>みみ</sup>あり

障子<sup>しょうじ</sup>に目<sup>め</sup>あり

寝<sup>ね</sup>耳<sup>みみ</sup>に水<sup>みず</sup>

ことば

寝耳・水

口くちは災わざわいのもと

口・災い・もと

良薬りょうは口くちに苦にがし

良薬・口・苦し

喉のど元もと過すぎれば

熱あつさを忘わすれる

ことば

喉元・過ぎる・熱さ・忘れる



頭あたま隠かくして

尻しり隠かくさず

ことば

頭・尻・隠す

へそが茶ちやを沸わかす

へそ・茶・沸かす